

9/13

昭和村・横浜市が還暦野球交流試合

## 昭和還暦野球クラブが横浜スタジアムで躍動



横浜スタジアムで刻まれた、昭和還暦野球クラブの新たな1ページ

昭和村と横浜市による初の還暦野球交流試合が9月13日、横浜市の横浜スタジアムで開催されました。当日は、昭和還暦野球クラブ(倉澤信雄監督)の選手25人が、関係者らとともに球場入り。横浜市の還暦野球チームを相手に試合に臨みました。試合は、昭和村が先制点を挙げ、その後互いに点を取り合う展開となり、七回裏7対7で引き分けました。倉澤監督は、「チーム全員が楽しみにしていた横浜の皆さんとの交流試合を横浜スタジアムでできたことは大変喜ばしく、今後も野球を通じて交流を続けて行ければ」と話していました。



ダッグアウトは3塁側



投げては要所を締めるピッチング



打っては7得点の好打線

9/16

## 昭和中学校吹奏楽部「秋のタベコンサート」 見事な演奏で会場を沸かせる

昭和中学校吹奏楽部(中村陽加里部長・部員17名)による「秋のタベコンサート」が、村公民館多目的ホールで開催されました。今年で26年目を迎えたコンサートは午後6時に開演され、多くの来場者がつめかけました。

コンサートは2部構成で行われ、生徒たちの見事な演奏と、趣向をこらした多彩なパフォーマンスで会場を魅了。来場者もステージで踊ったり演奏に参加するなど、一体感のある素敵なコンサートとなりました。



会場を魅了した昭和中吹奏楽部

9/11

## 平成30年度利根郡ソフトボール大会 村男子ソフトボール部が優勝

村男子ソフトボール部(石井則之監督)は、9月11日、村総合運動公園で開催された平成30年度利根郡ソフトボール大会兼県民体育大会予選会の決勝に臨み、川場村を相手に12対2の4回コールド勝ちをおさめ、見事優勝しました。これにより同部は、11月に4日から行われる県大会への出場が決まりました。

同部の石井監督は、「3年前に県大会で優勝した後は2年続けて初戦敗退しているのので、今年はまだ優勝したい」と県大会に向けての抱負を語りました。



優勝した村男子ソフトボール部



9/19 消防団中継送水訓練  
27 実践的な訓練で地域の安全を

村消防団（林正明団長）は9月19日と27日の2日にわたり、村総合運動公園内で中継送水訓練を実施しました。この訓練は、水利の少ない林野などでの火災を想定し、毎年行われているもの。

今年は、利根沼田広域中央消防署のポンプ車の水利を確保するため、各分団ポンプ車と小型ポンプをホースで中継し、送水しました。団員らは正確な消防ポンプの使い方について、中央消防署員の指導のもと、熱心に訓練に取り組んでいました。



中継送水時のポンプ操作を真剣に確認（9月27日）

9/20 永井で二十日念仏  
伝統受け継ぎ念仏唱える

永井上組地区では、二十日念仏が行われました。この行事は、毎年秋の彼岸の入りにあたる9月20日に先祖供養のために行われることから「二十日念仏」と呼ばれているもの。小中学生が、周り順で決まった家に集まり、太鼓と鐘の音にあわせて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えます。今年は、諸田壽美夫さん宅に4人の子どもたちが集まり念仏を唱えました。参加した諸田涼馬君は、「念仏には難しい言葉が多いけど、毎年やっているのが覚えました」と話していました。



念仏を唱える子どもたち（諸田壽美夫さん宅）

10/1 第一保育園児・昭和中生交流  
園児とふれあい「家族」を考える

昭和中学校3年生が保育園を訪問し、園児たちと交流しました。これは、家庭科授業の一環として行われ、子どもたちとふれあい「家族」について考えるもの。

10月1日は1組の生徒たち38人が第一保育園を訪問しました。園児たちは楽しいふれあいに大喜び。訪問した高橋周子さん（3年1組）は、「園児たちが元気いっぱい、緊張せず交流できました」と語りました。

なお、10月22日には2組の生徒たちが子育て保育園を訪問し、園児たちと交流する予定です。



園児とふれあう昭和中生（第一保育園）

9/28 昭和村公民館講座・オカリナ教室  
土からできた澄んだ音色に親しむ

村公民館では、7月から9月にかけてオカリナ教室が開催されました。この教室は、昭和村公民館講座として全6回にわたり開催されたもの。最終日となった9月28日には25人が出席しました。教室では、群馬交響楽団で長年活躍された小田原朝雄さんの指導のもと、参加者らは澄んだ音色を響かせていました。

教室を受講した高橋安美さん（大河原）は、「オカリナは奥が深く、音色も素晴らしいので、やりがいがありとても楽しかったです」と話していました。



指導を受けオカリナを奏でる参加者